

令和4年度 総会および研修会を開催

はじめに

道北技術士委員会では定例の総会および研修会を開催しました。新型コロナウイルス感染対策として過去2年見送ってきた会場参集方式での開催となりました。当日は会員会友など総勢34名の参加者となりました。以下にその概要を紹介します。

日時：2022年(令和4年)5月28日(土)

14:00～17:30

場所：旭川トーヨーホテル

1. 総会

高桑代表幹事の挨拶後に、議長に選出された同代表の進行により2項目の報告が行われました。

第1号報告：令和3年度事業報告および決算報告

第2号報告：令和4年度事業計画案および予算案

会場参集では過去2年開催できていなかったため、令和元年度からの内容も含めて活動紹介を行いました。令和4年度の事業計画としては、新型コロナウイルスの動向を見ながら、適切な時期に適切な内容で、なるべく直接コミュニケーションを採れる方式での活動を念頭に、継続研鑽や会員同士の交流の場を提供していくことを確認しました。



写真-1 総会・研修会参加者の集合写真

2. 研修会

演題1：技術士を巡る最近の動向 2022

講師：道北技術士委員会 代表

高桑 史郎 氏

概要：以下の5点について解説を頂きました。

- (1) 令和3年度 技術士一次試験結果
- (2) 令和3年度 技術士二次試験結果
- (3) 日本技術士会北海道本部の会員数
- (4) 令和3年度総括本部(理事会等)からの話題
- (5) 日本技術士会北海道本部の主な動向



写真-2 道北技術士委員会 高桑 史郎

演題2：高速道路整備の変遷と道内の現状と課題

～60年経っても完成しない

国土開発縦貫自動車道

講師：新谷建設株式会社

執行役員副社長・札幌支店長 西村泰弘 氏

概要：以下について講演を頂きました。

- (1) 道北の高速道路整備の現状
- (2) 我が国の高速道路整備の歴史
～戦前の自動車国道計画から高規格幹線道路計画
14,000kmまで、有料道路制度の導入～
- (3) 有料道路制度の破綻と道路公団の民営化、新直轄事業方式の導入

(4) 高規格幹線道路等の計画から事業化までの手続きの見直し

(5) 道内の高規格幹線道路の新規事業の動き

(6) 高規格幹線道路等の構造規格(幅員構成等)

函館から稚内までを結ぶ「北海道縦貫自動車道」は、昭和32年に法律で位置づけられた法定路線。未だに全国で唯一完成及び整備の見通しが立っていない北海道縦貫自動車道の名寄以北。このことを是非知っていただき、道北に住む国民及び住民の権利として、声を大にして、早期整備を訴えて欲しいと願っている。人口減少や超高齢化が進展する中、最も大きな影響を受ける地方の経済・産業・医療・生活などの持続的な維持のためにも、地方部だからこそ最低限の高速道路ネットワークの確保は重要な課題であり、地元は声を出していかなければならない。



写真-3 講演する新谷建設 西村氏

演題3: 「不」の解消から始める変革活動

～Google や心理学の研究結果からもらったワイガヤのヒント

講師: 株式会社リーガルマネジメント

司法書士小野司事務所 技術士(経営工学)

中小企業診断士 小野 司 氏

概要: 以下のテーマで講演を頂きました。

(1) 変革活動の理論と実績

①インプット(活用している理論)

ワイガヤ理論(ホンダ)、心理学(アドラー心理学、自己肯定感)、経営学理論(Google 社)、経営工学(生産管理など)、脳科学

②手法

- ・メイン手法としてワイガヤ手法
(自律、信頼、平等、魂の言葉)

- ・小集団活動として、変革活動、カイゼン活動、QCサークル活動



写真-4 講演するリーガルマネジメント 小野氏

③アウトプット(実績)

生産性向上、組織変革、働き方改革、人材育成、子育てにも及ぶ

(2) 変革活動の進め方

ステップ0 変革活動への意識付け

幸福感を高める、ムダ取りから始める

ステップ1 エネルギー源を探す

興味や好奇心の源を引き出す

ステップ2 エネルギーを生み出す

興味や好奇心がわいてくるものを課題にする

ステップ3 エネルギーを大きくする

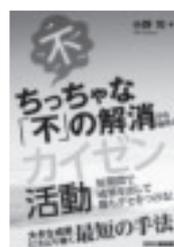
最初の成功体験を作り上げる

ステップ4 エネルギーを継続させる

成功し続ける(勝ちグセをつける)

(3) 小野氏著書

ちっちゃな「不」の解消から始めるカイゼン活動
短期間で成果を出して勝ちグセをつける!



日刊工業新聞社(2021/09)

おわりに

久しぶりの対面が多く会員間の交流を図るとともに、道路整備や経営工学など実りある研修会となった。講師の方々および参加者の方々へのお礼を申し上げ、ご報告といたします。